

市長定例記者会見報告事項概要

令和4年10月24日(月) 午前11時00分～

1. 防府市創業・交流センターのグランドオープンについて

- 防府市創業・交流センターは、市内事業者の事業活動を支援するため、デザインプラザ HOFU の1階から3階を改装して整備した施設である。
- 1階フロアでは、相談拠点「中小企業サポートセンター コネクト22」や、コワーキングスペース、キッチンスペースを配置しており、レンタルオフィス4室を施設3階に設置している。
- オンライン会議や、テレワークなどが行える通信環境が整っており、県において設置された、「やまぐち DX 推進拠点 Y-BASE」と連携し、市内事業者のデジタル技術等をサポートする。
- 11月5日(土)午前10時から、防府市創業・交流センターの開所式を、村岡県知事をはじめ皆様のご出席のもと、センター1階のコワーキングスペースで行う。

2. 防府競輪『周防国府杯争奪戦』の開催について

- 開設73周年を迎えた防府競輪場を舞台に、全国の有力選手が、11月3日(木・祝)から6日(日)までの4日間、熱い戦いを繰り広げる。
- 昨年、前人未到の4連覇を達成した清水 裕友選手をはじめ、勢い盛んな地元選手の活躍に期待している。
- 場内では、お笑いライブステージなど、さまざまなイベントをご用意している。
- 今回の記念競輪を最後に、防府競輪場のメインスタンドをはじめとした

施設はリニューアル工事に入り、2年間のお休みをいただく。

- 思い出深い競輪場の姿を目に焼き付けていただきたい。

3. 毛利博物館特別展の開幕について

- 防府の秋を飾る、恒例の毛利博物館特別展「国宝」は、今週29日（土）から、防府読売マラソンの翌日となる12月5日（月）まで行われる。
- 初日となる29日（土）午前10時には、毛利邸大広間でオープニングセレモニーを行い、特別展の開幕を祝う。
- 国宝「四季山水図」の全長16メートルを一度に見ることができるのは、毛利博物館の特別展のみとなる。多くの皆様のご来場をお待ちしている。

4. 令和5年度予算編成方針について

- 本日、市の部課長級職員に対して、令和5年度予算編成方針について訓示した。
- 現在、ロシアによるウクライナ侵略と円安によるエネルギー・食料価格の高騰等により、新たに原油価格・物価高騰などの大きな課題に直面しており、先行きが不透明な状況となっている。
- このような状況の下での新年度予算編成となるが、現時点では、電気代などの物価高騰の影響などにより、中期財政見通しで見込んでいた財源不足額が、約11億円から約14億円に拡大することを見込んでいる。
- こうした状況にあっても、市民の皆様と約束した「輝き！ほうふプラン」については確実に実行していかなければならない。特に中間年度である令和5年度は、本格的に建設に取り組む「新庁舎建設事業」を始めとした重点プロジェクトを着実に推進していくことが最重要であり、この予

算が「輝き！ほうふプラン」が実現できるかどうかにとって重要なものになる。

- その他にも、カーボンニュートラル、デジタル化、原油価格・物価高騰、新型コロナウイルス感染症などの対策もある。現在国において補正予算が編成されようとしているが、その動向をしっかりと見極めながら、令和4年度12月補正予算と令和5年度当初予算までを合わせた形の、「15ヶ月予算」として編成したいと考えている。
- 歳出面においては、「輝き！ほうふプラン」に掲げている施策について確実に計上する一方で、歳入面については、財源不足の拡大が見込まれていることから、国・県等の補助事業の積極的な活用や遊休資産の処分など、地方財政対策を含めこれまで以上の財源確保対策に、私自らもしっかりと取り組んでいきたいと考えている。
- 本市のまちづくりは、「輝き！ほうふプラン」に基づき、順調に進んでおり、その流れは止めてはならないと考えている。
- そのため、見積もり基準として枠配分方式を導入するが、「輝き！ほうふプラン」などの諸事業については、所要額を見積もるよう指示したところである。
- 今後、国の補正予算の状況や、地方財政対策の状況が明らかになり、対応すべき状況となった場合には、改めて見積もり基準の見直しもあり得ることも伝えている。
- 厳しい財政状況下の予算編成となるが、私自らが先頭に立ち、全職員と一緒に、素晴らしい予算となるようしっかりと取り組んでいきたい。

5. その他

- 市広報11月1日号は、表紙に紅葉で色鮮やかな毛利邸を掲載し、そして巻頭に防府の秋を特集している。どうぞ、魅力あふれる防府を多くの皆様にご紹介していただきたい。